★愛と心とお客様をつなぐニュースレター　発行／株式会社アクトジャパン　発行責任者／及川　明　〒980-0011 仙台市青葉区上杉２丁目 9-23　Tel.022-225-2493 Fax.022-225-2488

今年一年を振りかえる！（ほどたいして何もない！）

カク月 オイカワLa版 12 VOL.68

2014年12月号 第68号

※「オイカワLa版」は㈱アクトジャパンのニュースレターです。

来年の思いを届ける年賀状。今年もお世話になりました。来年もオイカワLa版が続きますように。

師走の 今月のコーナーは・・・

★アキラのひとり言・・・1面　★まんが大げさ劇場・・・1～3面
★ACTニュース・・・2面　★お客さま・・2面　★小説・・2、3面　★
温故知新・・3面　★インサツノチシキ・・・3面　★編集者より今年の総括　★今月の運勢　★★妄想道場応募作品紹介・・・4面　ほか
※オイカワLa版は今年を振り返りながらを楽しみご覧ください。

プレゼントは実験ですわ!!

愛あるおコトバ

（言葉の妖精 誰しの「モジリナ」監修）

ダシのきいた愛にあふれるおコトバをご紹介しますわ。

恋をすることは苦しむことだ。苦しみたくないなら、恋をしてはいけない。でもそうすると、恋をしていないことでまた苦しむことになる。

ウディ・アレン

傷つき落ち込むことがあったとしても、何もないよりはまだましということだわ。

今年一年お世話になりました。

自社の強みを徹底して磨き、お客様の信頼を勝ち得ましょう。

今月のひとり言です。

今月のひとり言も：及川 明 がお送りいたします。

早いモノで今年もあと少しで、新しい年を迎える師走となりました。お陰さまで皆様のお力添えの賜もので、弊社もなんとか来るべき新年を迎える事が出来そうです。誠に有難うございます。心より感謝を申し上げます。

難しい舵取りの一年でした

さて今年は4月に消費税が8%となり、実質賃金が目減りするなど殆んどの消費者にとりまして、財布の紐を一段ときつく締めざるをえない一年となりました。

また、お客様に自社の商品やサービスを選んでいただかなければ、経営が成り立たない私たち中小企業に取りましても、難しいかじ取りを強いられた一年でもありました。

そして、衆議院が14日に投開票され新しい内閣が発足致しますが、何れにしろ例えアベノミクスが成功したとしても、その結果が出るのはまだまだ先のことでありましょう。しかし殆んどの中小企業はギリギリの所で経営しているのが現実であり、アベノミクスの効果をそんなには待てない状況にあると言えます。

当たり前ですが政府に頼ることなく、企業は腹を決めて自助努力で目の前の課題を克服していかなければ、この厳しい状況から抜け出す事は事実上不可能でしょう。ですから私は思うのですが、今ほど経営者の力量、商才×人徳を思う存分発揮出来る時はないのだと、前向きに強く感じるようにしております。

厳しい時代を切り開く3つの徹底

そこで前向きにこの難しい時代を切り抜けて行くためには、色々なご意見があるとは思いますが、私は大切な事が三つあると考えております。

一つ目は、売り手側の立場ではなくお客様の立場や目線で考え、お客様に喜んでいただける自社の強みを再認識し、それを他社が真似の出来ないレベルにまで差別化し、全社一丸で徹底して再構築する事です。

そして二つ目は、再構築した自社の強みをお客様に正しく簡単に、そして出来るだけ分かりやすく徹底して伝えきる事です。

三つ目は、以上の戦略を全社一丸で実践し結果を出す為に、経営者（リーダー）自らが率先垂範して、徹底して範を示す事です。この3つの徹底が厳しい時代を切り開く、大きな力になると私は考えております。

集客効果の高い「されど名刺」のご提案

この3つの考え方に基づき弊社では、日頃お世話になっている皆様への恩返しの一つとして、広告道場からの学びである集客効果の優れた「されど名刺」の仕組みを再構築いたしました。皆様の会社の強みをお客様に正しく簡単に、そして分かりやすく伝える最高の場面は、名刺交換時にあります。しかしながら、殆んどの企業はその重要性をあまり認識しておらず、徹底した対応を取っている企業は大変に少ない状況です。

そこで名刺交換をきっかけにしてお客様の記憶に残り、集客からクロージングにまで至る事が可能な仕組み作りを、「されど名刺」として新発売する事に致しました。

必ずや皆様の売上向上のお役に立てるものと確信しております。

2面につづく

かわら版まんが

おおぎさ劇場　二段組（にだんぐみ）

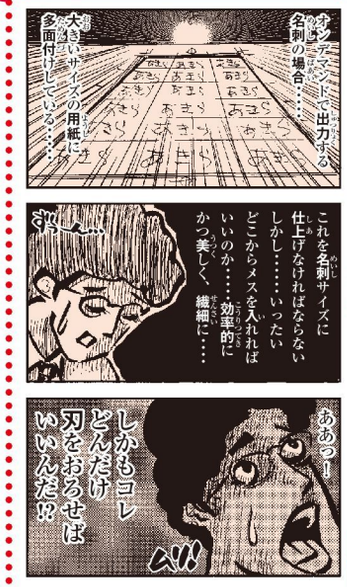
D.T.Pの場合、可読性を考えるのは必須だ……
考えすぎか？
いやいや…やはり左から右への視線動作がめんどうだ…
目だけでなく首も一緒に動かすことになってしまう
これでは読みやすいとは言えないのではないか…
2段にしたらいいんでねぇの？
はっ！
そうかっ！まさしくあの…
ごごご

※ゆる４コマも随時更新！弊社ホームページにて掲載！タイトル『忘れられた忘年会』

★やりがいに振り回されないこと…やりがいは、求めるのではなくやってみて初めて分かるもの。最初からやりがいを求めて仕事するのは順序が違う。理想に囚われすぎないことも大切です。

寒いですね～。冬ですもんね～。今年も残りわずかですね～。早いですね～。さて、オイカワLa版をご覧くださいませ。

おおぜさ劇場　断裁（だんさい）仕上げ



3面につづく

マンガの途中ですが、

印刷・デザイン用語の説明をしましょう。★文字を組むとき、1行が長すぎると可読性を損なう場合があるので、段を変えて適度な読みやすさにします。（1頁のまんが）★名刺の断裁は実は、一番神経を使う作業なんです。油断してると腰にきますので十分注意しましょう。

作者近影

なにより反応がとてもうれしいです。

ひとり言続き

てるものと、自信をもってお薦めできる商品であると自負しております。試してみる価値は十分にあると考えておりますので、是非一度お問い合わせをいただければと存じます。

未筆となりましたが、皆様にとりまして来るべき新年が、良き年となりますようご祈念申し上げまして、この一年の感謝と御礼とさせていただきます。誠に有難うございました。

ひとり言でした。

五年も続いた弊社のニュースレター「オイカワLa版」編集・制作をしているSAY39花鳥は、今年一年を振り返る意味でニュースターについて語った。

「いや～、何が大変って、他の印刷会社もそうだと思うんですが、業界的にお客さまに役に立つ情報を発信することって極端に少ないんですよね。受注型から提案型と言われて久しいですが、やっぱり受身な部分は否めませんから。その点、弊社は「ニュースレターだけは続けてこれた。これは自信もっていいんじゃないですか。最近アンケートなんかも反応がありますし。くたらないことでもコミュニケーションができて楽しいですね。相変らず売上げに直結してないので肩身がせまいですけどね…」

インサツノイチシキ。

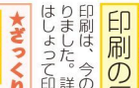
第11回 歴史編

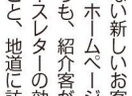
印刷の歴史のはなし。

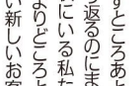
印刷は、今のようになるまでに長い年月がかかりました。詳しくは書ききれませんのでだいぶはしょって印刷の歴史をご紹介いたします。

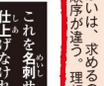
★ざっくり振り返る印刷の歴史！

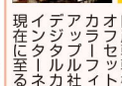
2世紀ころ　中国で紙が発明される。
7世紀ころ　中国で木版印刷が始まる。
8世紀ころ　日本に紙が伝わる。
11世紀ころ　日本最古の印刷物が作られる。
12世紀ころ　中国で活字が発明される。
15世紀　日本で多くの仏典が刊行される。
17世紀　グーテンベルク（独）が活版印刷を発明。
19世紀　世界初の聖書を出版
20世紀　日本でも多色刷りの浮世絵が出現。
日本でも活版印刷の研究が進む。
日本人による初の新聞発行。
新国立銀行券　1円と5円紙幣を印刷。
大蔵省で巻き取り式輪転機導入。
国産輪転機の製造開始。（1901）
オフセット印刷機が普及。（1914）
アップル社がMacintoshを発表。（1984）
デジタルカメラ導入の動き（1995）
インターネットブーム到来（1996）
現在に至る

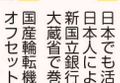


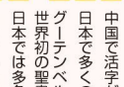


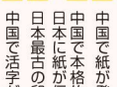


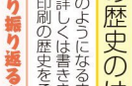


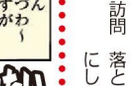


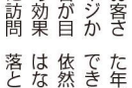


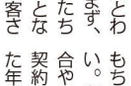


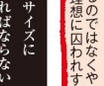












温故知新

般若心経の「無のやさしさ」

※般若＝「知恵」

しんぎょう　英語訳「Hreat Sutra」（ハート・ストラ）（心のお経）

日本人にとって一番なじみのあるお経ですが、実のところよく知らない方も多いのでは。人智が及ばない見えない変化の法則の中で生きてる私たちにとって、生きるヒントがたくさん詰まった奥が深いお経（たったの262文字）のほんの一部をご紹介。

今回はーTに革命を起こしたスティーブ・ジョブズ氏も愛読したありがたいお経です

「こうしなければいけない」という囚われからの解放。枠を取っ払う。

般若心経に通じる世界の名曲はコレ

No heaven
No hell
No contries
Nothing to kill or die for
No religion

天国も地獄もない。
国境もない。
殺したり、死んだりする理由もない。

ジョン・レノン「イマジン」より

シブがき隊のNAI・NAIシックスティーンも同じかな？……

是故空中無色
無受想行識
無眼耳鼻舌身意
無色声香味触法

この世の移ろいゆく法則の中で見れば、目に見えるあらゆる物に区別はない。見たり聞いたり味わったり考えたり、物事を認識する感覚や心のあらゆる感情にも区別はない。

つまり、お釈迦様が悟った完璧な教えを庶民に伝えるために、菩薩（修行する人たち）が簡単に要約し、時にはその教えさえも否定して、「別の道もあるよ」と人生を生きる心構えを説いています。

誰が言ってるの？

考えや気持ちが行き詰ったら

こだわりや固定概念を捨てて、物事を広い視野で見てみよう。

できるかな…

おおぜさ劇場　梱包（こんぽう）作業

かわら版まんが

今年も残りわずか!!!

大掃除も社員にまかせっきりにしないでね

二〇一四年も残すところあとわずか。今年を振り返るのにまず、常に厳しい現状にいる私たち印刷会社が心のよりどころとなるのが、数少ない新しいお客さまとの出会い。ホームページからの問合せよりも、紹介客が目立った。ニュースレターの効果はもちろんのこと、地道に訪問営業した賜物だろう。

もちろん、いい話ばかりではない。印刷の版をたす機械の不具合やアプリケーションソフトの契約状況など、トラブルが続いた年だった。年賀状も積極戦略できない分、売上げは見込めず、依然として厳しいことに変わりはない。今年のアクをキレイに落として、来年こそは飛躍の年にしたいものだ。

いつもありがとうございます。「今月のお客さま」

白石市　東天閣さま

印刷物の打合せ＆撮影でお邪魔いたしました。（10/28）

アクトジャパンからのお知らせ

今度は名刺を売り出すみたい

ハッピー問答

おいわれ版 イチオシ 読切小説

作：SAY39花鳥

今年ももう終わり（戦いは終わりだ）
新しい年が始まるんだ（君たちが望めば）
ハッピー・クリスマス（戦いは終わり）
（ジョンレノン）

戦いは終わらない。日々、お客さま、協力会社、上司や職場の仲間たち、なにより自分自身との闘い。戦々恐々。四面楚歌。背水の陣。ノルマ。納期。生産性。利益率。予定通り予定外。入稿遅れ。伝え忘れ。行き違い。体力の限界。ミスの対応。自己嫌悪。開き直り。ぼーっとする暇なし。キャッチする努力。あえてキャッチしない。耳なし芳一。物々言ってる。確認は大事。何のため。考えること。考えないこと。迷っちゃう。つべこべ言わず。手を動かせ。とりあえず何か食べる。色即是空。無我夢中。あっという間に師走。この一年何してた？

「スケ老師さま…なんて言うか…自分のふがいなさと言うか…」
「ふむ…なるほど…おまえはバカか」
「えっ？」
「そういう落ち込みは改善・努力していけばいいだけの問題に対し前向きに思考を切り替えもせず無意味に自己否定するから起こるのじゃ」
「スケ老師さま…そうはいっても」
「まったく…人間は弱い。現実を直視する精神力が足りん。問題はいつもおぬしらの内側にあるものよ」
「ですがスケ老師さま…わかっていてもなかなかできないのがわたしたち人間です…」
「理想を高くもつのは構わんが、疲れるじゃろう。上手くいかんことが続くと心が折れる。自分の創り出したイメージで無駄に自分を苦しめることになる。大変じゃな」
「スケ老師さま、どうすればいいんでしょうか？」
「あんまりイメージにしがみつかんことだ。…まあ、あとは思いやりをもつことじゃな」
「思いやり？…なんか関係ない気がしますけど…」
「思いやる相手にイメージを押し付けようとは思うまい。そしてその対象がまわりの多くの人になったらどうなると思う？」
「？…？…（スケ老師さまは何が言いたいんだろう）若者よ、人を変えることはできるぞ。ただし…一時的にじゃが」
「一時的って…結局無駄なんじゃ…」
「誰でもいっときは奮い立つのじゃ。このままではいかんと……ワシらもそのきっかけを与えることはできよう。しかし人間というものは本来弱い生き物じゃ。というより、だらしない怠け者というべきか。時が経つと元のどうしようもない状態にもどってしまう。そんなことを繰り返して…人生の答えのようなものがわかりかけてくる頃には…人は年老いてその知識と経験を生かす場も体力もなくやがて死んでしまう。あとの祭りじゃよ」
「…分かってます。でも幸せになりたいんです。希望を捨てたくないんです！変わりたいんです！スケ老師さま…お願いします！教えてください！」
「説明してもおぬしには理解できん」
「そこをなんとか！スケ老師さま！」
「困ったやつじゃ…そうじゃな…では、おぬしの後ろの棚にあるものはなんじゃ」
「え？…って…この本ですか？」
「そうじゃ、本じゃ」
「バリバリバリバリバリバリっ！」
「スケ老師さまっ！何を!?」
「わかるか？「本」というのはいくつもの紙の集まりじゃ。「本」という実体は無く、ただの概念にすぎん。人間はこういった概念の世界に埋もれておる。そこから実際に生きてる現実の世界は認識できん」
「スケ老師さま！概念と現実は違うと？」
「ネコが「本」を理解できるか？やつらにとっちゃただの物体でしかない。概念と現実は異なるもの。ゆえに苦しみが生まれ、逃れるために怠けが生まれるのじゃ」
「なるほど…でもスケ老師さまはネコじゃ…」
「たわけ！わしはネコではない。アレといっしょにするでない。酒がまずうなるわ！」
「申し訳ありません…スケ老師さま、最後にひとつだけよろしいでしょうか？「強さ」とはニャンですか？」
「…強さ…力やお金や肩書きのような一時的で流動的なものでニャい。シンプルに相手の幸せを心から願うことニャン。自分の幸せを願ってくれる相手には適わないものニャン。勝ち負けではないニャン。勝ち負けにこだわれば世界が狭くなってしまうニャン。妬み、思い上がり、優劣をつけ争うことでさらに傷つくしかにゃいニャン。本当に強い人は勝負の土俵に立たず、相手の立場に立ってただ相手のことを心配し幸せを願っているニャン。行動するのはできる範囲で十分ニャン」
「スケ老師さま、お陰でなんだか力が湧いてきました！」
「うむ、今日はこれまでニャン。あまり悩むニャ。すべてはなるようにしかならんのニャン。それより…さあ宴ニャン！ハッピーメリークリスマスにゃーん！」　完

※エンディングテーマ、ジョンレノン「ハッピークリスマス」

★今月のかわら版大喜利やってみて！

●お題：「妖怪ウォッチ」にあやかってアクトジャパンにとりつく妖怪を考えなさい。

読者からの投稿でっす

「赤字妖怪あらり良い」／「社長妖怪おくってけろちゃ」／「経営妖怪ま坂」／「印刷妖怪ムラリひょん」／「入稿妖怪おくれて御免」／「原稿妖怪げっこうふ火」／「校正妖怪睡魔せん」／「見積り妖怪たかいたかい」／「返事待ち妖怪いったん保留で」／「難題妖怪ムリだべ」／「物忘れ妖怪納めない」／「電話妖怪聞き間違い」／「請求妖怪支払い催促」／「被害おさわり爺（故会長）」ほか

●オイカワLa版は、㈱アクトジャパンのお客さまにお配りしております。お問合せはこちらまで。TEL022-225-2493

なぞかけ!!「年賀状」とかけまして～「お味噌汁つくるとき」ととく、そのこころは、答えは４面欄外上に記載。